



自分を守るために・子どもたちを守るために ～メディアリテラシー講演会より～

5月29日(木)に「メディアリテラシー講演会」を行いました。※メディアリテラシーとは、メディア(ネットやSNS等も含みます)から得た情報を正しく理解して適切に活用する力のことです。

今回お話をしてくださったのは、大田警察署と浜田警察署の方々です。まず、言われたことは「**スマートフォンやネットは、楽しくてよいものである。だから、使い方を間違えなことが大切。間違った使い方は、犯罪につながると考えてほしい。14歳以上は、逮捕されることもある。14歳以上は、正しい判断ができると思うからである。**」でした。

スマートフォン、ネット等の使い方でお気をつけること

今回は、犯罪に巻き込まれないことを視点に伝えてくださっています

○「個人情報」をきちんと管理する～個人情報を流してしまうことは犯罪として問われる

◆個人情報を抜き取ろうと狙っている人がたくさんいるそうです。

- ・パスワードを複雑なものにすること
- ・生体認証を利用すること
- ・フィルタリングを設定して、怪しいサイトにつながらないようにすること
- ・写真や動画を簡単にアップしないこと ※個人をすぐに特定されます



○ネットで出会った人には絶対に会わない、連絡をとらない

◆誘拐、性的なことが目的の場合が多いそうです。なりすましも多く、会いに行ったらネット上とは全く違う人で、犯罪に巻き込まれると言われました。

○「人のことを書かない・人の写真を勝手にアップしない」名誉棄損、侮辱罪という犯罪にあたることもある

◆ネットは不特定多数の人に一度に情報が流れるため、思わず書いた悪口でも「名誉棄損」「侮辱罪」といった犯罪となることがあるそうです。

- ・大切なことは会って話す
- ・相手にメールやLINEを送る前に「相手が嫌な思いをする内容でないか」を必ず読み返してチェックする
- ・親が見ても大丈夫な内容なのかを考える

○人に迷惑をかけている動画を作らない、アップしない」営業妨害で多額な損害賠償金の請求もある

◆お店にいたずらをする動画や犯罪予告のメールを流した結果、数千万の高額な賠償金を請求され、親に迷惑をかけたとずっと苦しんでいる中学生がいるそうです。

○「ネット上のものはずっと残る」 = デジタルタトゥーと言います

◆一度ネットにあげてしまうと次々と誰かがコピーをしていってしまうので、「ネット上のものはずっと残る」そのことで将来、自分自身が困ることもあると言われました。

○「闇バイト」は犯罪である

◆闇バイトをして逮捕された十代の若者たちは、「闇バイトで危ない」と気づいていたと言うそうです。でも、個人情報をとられてしまったので、家族にも被害が及ぶのではと思ってやめられずに逮捕されてほっとしたと言うそうです。

- ・簡単、短時間、高収入という甘い話は絶対はないと思うこと
- ・オンラインゲームのコミュニケーション機能は使わないこと。

※一緒にゲームをしていて仲間だと思って個人情報を伝えて、犯罪に巻き込まれることがあるそうです。

困ったらとにかく大人に相談を

生徒たちは真剣に話を聞いていました。「こわいなと思った」という感想も多かったです。スマホやネットは便利で豊かなものです。問題は使い方。子どもたちを守るためにも保護者の方に講演の内容を紹介させていただきました。スマホやネットが安心して使えるよう内容をご家庭でもご確認ください。

もう一步頑張る経験を

～浜田ブロック大会、始まりました・一学期も折り返します～

一学期も半分が過ぎました。中間テストも終え、いろいろな課題が見え始め、少しあきらめたくなる時です。気持ちのゆるみから「やめておけばよかった」といった行動が最も多く見られるのが、この時期です。自分を大切にするために「気持ちのゆるみ、判断の甘さ」がないように。「もう一步、もう少し」と考えていく時です。また、運動部活動の浜田ブロック大会等が始まっています。吹奏楽部も今年初めての大きなステージをもうすぐ迎えます。自分で決めて部活動に参加していない人もいます。自分で決めていることは実はすごいことです。

みんな「もう一步頑張る、ねばる」「もう少し考える」こんな気持ちや経験を部活動の大会や一学期後半の生活の中でぜひしてほしいと思います。



壮行式/5月27日(火)

新しい応援団のもと、今年度初めての壮行式を行いました。新応援団は、新しいリズムの三三七拍子に挑戦してくれました。全校で校歌を歌うのは今年度は初めてでしたが、よく声が出ていました。とても雰囲気の良い集会ができます。

大田一中のお宝発見

校長室に昭和の大横綱「大鵬親方」の手形と写真があります。昭和40年に大田一中に来校された時のものだそうです。このように大田一中に縁のある「大鵬親方」は、「もう一步」の気持ちを大切にされたそうです。相撲は、力が抜けた瞬間に勝負がついてしまう競技であるから、「もう一步」と最後まで力をこめて粘っていくことが大切なのだと思いました。

そして、**応援される人へ。**浜田ブロック大会等の大会期間中こそ、たくさんの方に感謝して大会の日程を過ごしてほしいと思います。毎日支えてくださり、当日も送迎やお弁当を作ってくださいるご家族。選手が全力で大会に臨めるようにと頑張ってくださいる大会運営の方々。**感謝できる人こそ、応援される人。応援される行動を。**

PTA福祉部～溝そうじをしてくださいました

自分を守るために・パフォーマンス力を高めるために

体調不良となった人の中に「寝ていない・水分をとっていない・朝食を食べていない」と言う人がいます。5月27日から4日間、個々の睡眠の様子チェックもしています。(保護者の方にはお知らせしていません)自分自身を守るためにも、力を出し切るためにも「寝る・食べる」を大切にしてほしいと思います。

また、今年度も大田市教育委員会のスクールトレーナー派遣事業の指定をいただき、島根大学の医師やスクールトレーナーの方が定期的に来校していただきます。まず毎年一年生が体の使い方を教えてもらっています。「姿勢がよいと集中力、パフォーマンス力があがる」そうです。本校は今年ですべての学年がトレーナーさんの指導を受けたこととなります。「良い姿勢」思い出してみてください。



5月25日(日)にPTA福祉部の呼びかけで19名の方が集まってくださり、校庭、別館周りの溝掃除が行われました。溝は長年の積み重ねで土砂がたまってしまい、水が滞り課題となっていました。大変助かりました。ありがとうございました。

